



空気の器は空気を包みこむように、かたちを自由に変えられる紙の器です。

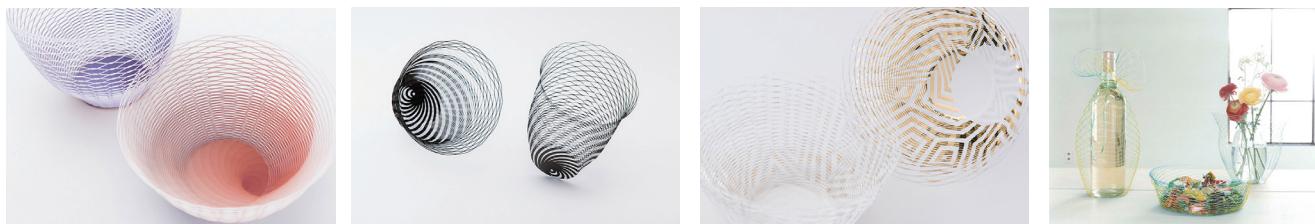
広げ方によっていろいろなかたちができます。小物を入れるトレイ、花瓶の装飾、ワインのギフト包装、またオブジェなど使い方は自由。紙なので薄くて軽く、器になると張りと強度がでます。表と裏で色の異なる器は両面から使えます。

見る角度によって二色が混じり合い、不思議なグラデーションが生まれます。今回、彫刻の森美術館では初登場となります。

多くのアーティストとコラボし、個性豊かなグラフィックを発表し続けている「空気の器」を多数紹介いたします。是非お手にとって、自由に広げてお好みのかたちを楽しんでください。

店内をカラフルに彩る空気の器のディスプレイもどうぞご覧ください。

**販売期間：2017年10月7日（土）～2018年1月17日（水）**



¥500（税別）～ ※美術館オリジナルは11月中旬に発売開始予定です。

福永紙工は、東京多摩の立川市で創業して50年。印刷から加工まで一貫して製造できる工場です。

特色印刷や厚紙印刷、抜き加工や折り加工得意とし、多くの実績を積み重ねてきました。

2006年から新たな取り組みとして、デザイナーといっしょに工場の技術を活かしたオリジナル製品を企画して販売しています。

信頼関係を大事にしながら、紙を印刷・加工してできることを模索しています。

かみの工作所 HP <http://www.kaminokousakujo.jp/>